

2022～2023 年度

おおず

10月号

(第 1500 回記念例会特集号)

Ozu Lions Club



2004.12 大洲城 桜の記念植樹

2022-2023

10月号

No.440



国際会長テーマ&メッセージ ブライアン E・シーハン

【 We Serve(我々は奉仕する) 】

【 Together We Can 】

336-A 地区ガバナーズローガン 市村通夫

【 感謝を込めて ウィサーブ 】

キーワード【 不易流行 】

クラブ会長スローガン 矢野啓文

【 Version Up Activity バージョンアップ アクティビティ 】

大学卒業後、10年間大学病院に在籍。昭和50年5月より大洲病院に約3年間勤務し、昭和53年2月、大洲市大洲19番地(大洲市本町1丁目)に内科医院を開業しました。開業と同時に大洲ライオンズクラブに入会を勧められました。(岡本正規会長、兵頭勲幹事の時代)。月2回の例会との事で入会しました。それから現在まで44年間大洲LCに在籍したことになります。その間に大洲LCの周年事業を見てきました。その事について述べてみたいと思います。

創立20周年記念事業は大洲城の広場に子供の遊具(ブランコ・鉄棒)の寄贈、25周年記念事業は富士山に「椿の路」を設置しました。「椿の路」の設置には、当時「椿愛好会」の会長であった、石川淳郎L.に大変お世話になりました。

30周年記念事業は「椿の路」の下部三分の一の植樹と城山下の肱川の横に「東屋」(あずまや)を作りました。

40周年記念事業は大洲城天守閣復元に伴う鯨の寄贈、45周年は城山の広場に桜の植樹をしました。

50周年と60周年はそれぞれ大洲市立図書館に、時計、図書の贈呈等をしました。

大洲LCも周年の節目、節目には社会に還元する事業をしてきました。今後も続けていきたいと思っています。



大洲ライオンズクラブ20周年記念アクティビティ 昭和55年3月16日

昭和55年 当時のメンバーにて
20周年記念事業 遊具贈呈式



大野勝也 40周年記念大会委員長と
濱田耕造会長
市役所にて栴田市長へ記念事業目録贈呈式

“As time goes by”

大洲ジュニアトライアスロン

大洲ライオンズクラブの上に過ぎ去って行った 永い時の流れを思い出の写真で振り返ってみました。



"As time goes by"

大洲少年少女合唱団



◇ゴミゼロ運動 2010.5.30 緑地公園



ゴミゼロうどん炊き出し2006 喜多小学校

◇ゴミゼロ運動 2003.1 肱川肱南河原



椿の路清掃 2002.4

◇ゴミゼロ運動 2012.6.10 平小学校



椿の路清掃 2008.4.11



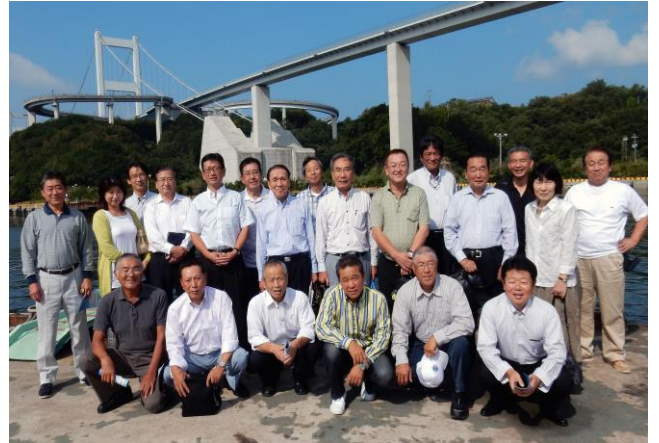
◇おまつり村



◇献血事業



◇高島・大洲 LC 交流事業



◇中越地震うどん 1000 食ボランティア



◇福島浪江町みかん 200 箱支援ボランティア



◇南阿蘇ミーティング（熊本地震支援事業）



◇肱川クリーン作戦



◇献血事業



◇冬花火（無料スープ）



◇大洲ホーム餅つき



◇募金活動（東日本震災募金）



◇フラワーアレンジメント



◇家族石鎚ツアー



◇釣り同好会



◇天狗高原 BBQ ツアー



◇バンド同好会



◇家族レクリエーション BBQ



◇ビアガーデン例会



◇家族石鎚ツアー (面河溪)



◇初煮会例会



【 2005 年 3 月発行 創立 45 周年記念誌より 】

1960 年 12 月に結成された大洲ライオンズクラブ事務局は 45 年の歴史の中で 4 度場所を移転しています。

設立当初は現在の伊予銀行大洲本町支店の 2 階にあり、手形交換所の事務をされていた新谷の兵頭太熊さんに事務局員をお願いしていたそうです。その後 1969 年に平田弘 L が会長時代に大洲商工会議所があった、今の赤れんが館 2 階に移ったそうです。(平田 L、大野 L のお話です。)

そして 1983 年、村上五郎 L が会長時代に現在の商工会議所が建てられ、大洲ライオンズクラブ事務局も移転したという経緯をたどっています。

事務局員も会議所の職員さんに委託するようになり、佐藤さん、河野さん、大森さん、丸山さん、浜田さん、宇都宮さんのお世話になりました。

今井要 L が会長時代に、商工会議所より職員の減少を理由に事務局移転の要請が出ていました。先延ばしにしていたのですが、私が会長を仰せつかった、2002 年 7 月に事務局移転を 2003 年 4 月までにしてほしいと期限を付けられ、現実の問題となりました。

さっそく例会でもこの移転問題を取り上げたところ、坂本 L より「四国河川文化ネットワーク」という団体が事務局のパートナーを探している」、という情報を教えて頂き、さっそく関係者に会い、話を進めました。

場所は大洲市が管理する防災センター内、事務局員さんも共同でお願いする、ということになり、2003 年 2 月 1 日より新事務局をスタートする運びになりました。

大洲商工会議所の倉庫に保管されていた資料や備品の整理、ファックス等の備品の購入、事務の引継ぎと移転の連絡、等々、いろいろ問題がありましたが、全会員の協力の下に無事に移転することができました。

しかしながらそれまでの余剰金は移転のためすべて吐き出し、新事務局員さんの経済的処遇ということでは大変迷惑をかけ、次年度スタッフには強く処遇改善をお願いして、バトンタッチをしました。

事務局移転のデメリットとしては 会議所との関係が希薄になった 、事務局が遠くなった、財政が悪化した、こと。

メリットとしては パソコンやファックスの活用により事務の IT 化が進んだ、 専用の事務局なのでゆっくり会議ができる、 移転に伴う財政悪化のため、会報誌の外注を止め、IT 委員会がパソコンを使って作るようになり、その結果、かわら版方式でのアクト報告が多彩多様になった 、事務局運営が今後とも経済的にできる、等かなと思っています。

今回の事務局移転に関しては前事務局員の宇都宮さんに大変お世話になりました。移転後もプライベートな立場でフォローをして頂き、本当に感謝しています。

そして新事務局員として、平成 15 年の 2 月から山本さゆりさんに来てもらっていますが、ずっと前から事務局をしてもらっているような錯覚を持つほど有能な人に来てもらい、本当に助かっています。

青年会議所とか、ロータリークラブとか、いろいろなボランティア団体がありますが、その中でも最高の事務局だと思います。

事務局移転時会長 古森 敏夫



大洲商工会議所 職員
歴代 大洲 LC 事務局員
丸山さん、浜田さん、宇都宮さん



2003 年～2015 年まで事務局のあった 肱川河川防災ステーション

第 1500 回記念例会 フードバンク事業

第 1500 回の記念例会を迎えるにあたり、何か心ざわしい記念事業ができないか、思案していた時、今年のキャビネットの地区活動基本計画の一つである「子ども食堂及びフードバンクへの支援」の提案がありました。

タイミングよく、クラブメンバーのサンフーズ堀田 L の会社にフードロスになる予定の食品があることを知り、それを買い取り、今回の記念事業として、県内へのフードバンク、子ども食堂への支援が決まりました。

「フードバンク」は安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字のミスなどで流通に出すことの出来ない食品を、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。

「子ども食堂」は子どもが一人でも行ける無料で食事を提供する食堂のことです。また、子どもの貧困対策だけではなく、地域の交流拠点の場ともなっています。

第 1 回目として、大洲市社会福祉課を窓口として、大洲市内にある 2 つの施設「清和園」と「とみす寮」への寄贈が決まりました。

10/20(木) 目録贈呈式が大洲市特別応接室にて行われ、矢野会長、宮下実行委員長、池本幹事、菊池前会長の 4 人が参加しました。

贈呈式前日 10/19(水) 記念例会実行委員たちがサンフーズさんに集合、レトルトシチュー 1120 食を車に積み込み、2 か所の寄贈先に届けることが出来ました。

次は、第 2 回目として「NPO 法人 e ワーク愛媛(えひめフードバンク笑顔)」への寄贈が決まっています。ここから、愛媛県内のフードバンクや子ども食堂を運営している団体、個人に配布される予定です。

コロナ禍で 2 年間余り本来のライオンズのアクティビティが出来なかった中、会員たちの協力でのこのような有意義なアクトが出来たことに、大変感謝しております。今後も、時代に合ったアクトを継続して行っていきたいと思います。



今回協力頂いたサンフーズ本社



元気にシチューを積み込んでます



とみす寮にて



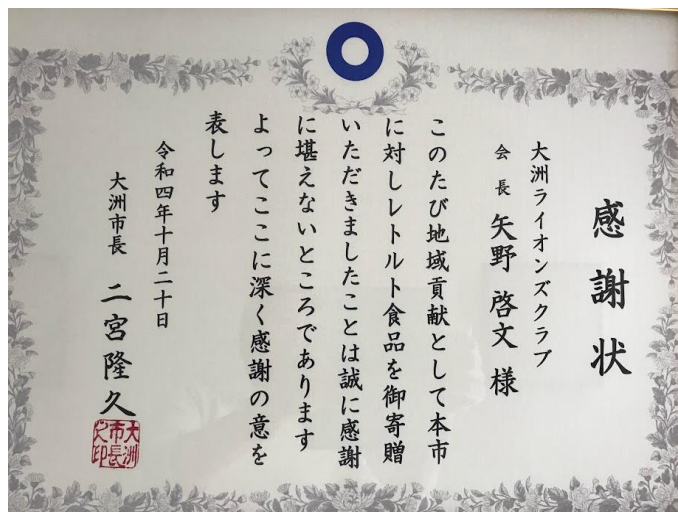
清和園にて



目録を読み上げる矢野会長



大洲市より感謝状を頂きました



池本、矢野、二宮市長、菊池、宮下

ウクライナ復興・人道支援 基金箱を作りました

第 1500 例会を記念して、この度「ウクライナ復興・人道支援基金箱」を作製しました。

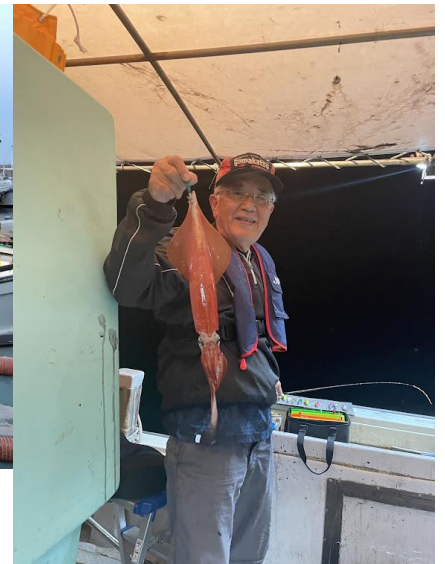
今後、クラブ事業や様々なイベントの際にこの箱を設置し、この中に集まったお金はすべて、今後のウクライナの復興・人道支援のために送金いたします。皆様のご協力をお願いします。

また、作製にご協力頂きました寺尾ライオン、ありがとうございました。



9/8(木)記念例会協賛事業として、イカメタル釣り大会が行われました。

これは、記念例会時に出席者のみなさんに、旬のケンサキイカを食べて頂こうと、大洲LC釣り同好会が企画したものです。



当日は9名のメンバーが参加し、約100杯以上のケンサキイカを釣ってきました。今日の食事に振舞われるイカは、すべて会員自ら釣り上げたものです。さて、どんな料理になっているかな。皆様どうぞ、ご賞味下さい！

3R 地区ガバナー公式訪問

矢野 啓文

令和4年9月10日土曜日、3R地区ガバナー公式訪問が御荘文化センターにて行われました。ガバナー他キャビネット役員の方々の公式訪問により、地区からは地区役員他各クラブの3役が出席しました。キャビネットが掲げる重点目標の「会員増強」「こども食堂の開催」「フードロスの削減」等について各クラブの取組みが発表されました。大洲ライオンズクラブにおいても具体的な取組みの経過を発表することができました。

その他、印象に残ったのは、楽しい例会の開催についてです。

これは会員増強にも繋がる事柄なのですが、出席したものの一部の人のみが盛り上がり楽しさに欠ける例会の開催は、会員増強に繋がらないという事です。

私も自身のクラブに置き換え思い返してみると、全員が本当に楽しめている例会になっているかどうか、疑問を感じる状況があるように感じるようです。

飲食の際に話題が合わず孤立していたり、例会の際にも活動の中身に溶け込めなかったり、様々な場面を思い出します。例会の楽しさの充実を考慮し、進めていきたいと感じた公式訪問でした。 矢野啓文



【 稲積癒しの里山の起源について 】

父が30年程前に友人より花菖蒲を貰い受け、畑の隅に植えました。花菖蒲は4年から5年毎に株分けをしないと綺麗な花を付けないので、株分けを行う度に、面積が倍、倍と増えていき、高齢の父親一人では対処出来なくなり、娘の力を借りる事となりました。

当時は姉夫婦が個人的に楽しむ程度のものでしたが、現在の形になったのは、12年前に花菖蒲と紫陽花を静岡県の加茂花菖蒲園より購入し、「稲積癒しの里山」としてリニューアルしました。

その時点で彼岸花(リコリス)も植えることになり、長崎県の城下農園より46種購入しました。

コロナ前は5,000人ほどの来園者がありましたが、現在はイベントは実施しておらず、休憩所もお休みしております。

来園される際は、国道には看板設置はありませんが、県道、市道には誘導板が設置されています。

みなさま、来園の際はお気をつけてお越しください。

岩田重栄

現在の稲積癒しの里山の概要

種別	個数	数量	備考
駐車場	40台	20アール	
花菖蒲	120種	20アール	
紫陽花	250種	20アール	山紫陽花も含む
彼岸花	47種	畦と法面	

